

令和6年12月

# 伊東市議会12月定例会

## 一般質問要旨

伊東市議会

一 般 質 問 順 序

- 1 佐 藤 周 君  
(11月29日(金) 10時～10時50分)
- 2 河 島 紀 美 恵 君  
(11月29日(金) 11時～11時50分)
- 3 竹 本 力 哉 君  
(11月29日(金) 13時～13時50分)
- 4 鈴 木 絢 子 君  
(11月29日(金) 14時～14時50分)
- 5 杉 本 一 彦 君  
(11月29日(金) 15時～15時50分)
- 6 虫 明 弘 雄 君  
(12月3日(火) 10時～10時50分)
- 7 四 宮 和 彦 君  
(12月3日(火) 11時～11時50分)
- 8 村 上 祥 平 君  
(12月3日(火) 13時～13時50分)
- 9 篠 原 峰 子 君  
(12月3日(火) 14時～14時50分)
- 10 杉 本 憲 也 君  
(12月3日(火) 15時～15時50分)

11 田久保 眞 紀 君

(12月4日(水) 10時～10時50分)

12 重 岡 秀 子 君

(12月4日(水) 11時～11時50分)

13 犬 飼 このり 君

(12月4日(水) 13時～13時50分)

※ 質問時間は、進行状況によって変更することがあります。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 佐 藤 周

1 伊東市公共施設等総合管理計画について、以下3点伺う。

- (1) 施設保有量の推移に関し、平成27年度の計画策定時及び現在の公共建築物全体の延べ床面積及び、学校、幼稚園・保育園並びに市営住宅それぞれの延べ床面積について伺う。
- (2) 長寿命化対策を反映した公共施設等に係る将来コストの見込みにおいて、平成27年度からの40年間を試算期間としているが、そのうち、実績値を用いて算出を行った平成27年度から令和3年度までの公共建築物の改修・更新に要した費用について伺う。
- (3) 基本方針1として、公共建築物については、必要なサービス水準を確保しながら、施設の廃止、複合化、集約化、用途変更等により、総量の適正化を図るとあるが、その取組状況について伺う。

2 本市の指定避難所について、以下3点伺う。

- (1) 指定避難所ごとの避難可能人数の算出方法について伺う。
- (2) 地区ごとの想定避難者数を伺うとともに、当該地区全体における避難所の収容可能人数に対する割合について伺う。

(3) 現在、避難所の指定は公共的性格を持つ施設にとどまっているが、民間施設を避難所に指定することは可能か伺うとともに、これまでに指定した実績があるか伺う。

3 現在、休園中の幼稚園並びに廃校となった旧川奈小学校及び旧西小学校施設の現在の利用状況を伺うとともに、年間の維持管理費について伺う。

4 本市の小・中学校教育が抱える課題について、以下3点伺う。

(1) 本市の中学校では、教科担任制が採用されているが、専科教員の人材不足により配置が難しい状況があるとのことだが、その現状を伺うとともに、対応策について伺う。

(2) 中学校運動部活動の地域移行に関する本市の取組について、進捗状況及び課題を伺うとともに、今後の見通しについて伺う。

(3) 毎年発行されている「伊東市の教育」において小・中学校教職員数が一覧表として記載されているが、教育支援事業及び外国語指導者配置事業により配置されている職員数が記されていない理由について伺う。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 河 島 紀 美 恵

1 伊東市民病院は、伊豆半島東部地区の基幹病院として、急性期医療を担う医療機関であるほか、様々な法令等による医療機関の承認指定も受けており、市民に充実した医療を提供する役割を担っている観点から、以下3点伺う。

(1) 伊東市民病院とかかりつけ医の役割について

(2) 伊東市民病院における市民からの要望への対応状況について

(3) 伊東市民病院における産婦人科の現状について

2 子供が公共交通機関を利用する際に、一定の要件下の場合においては通学時の補助はあるが、習い事等へ通う際に活用できる補助制度がないことから、余暇活動も含めた使用ができる習い事パス等のような制度の導入について、本市の見解を伺う。

3 高齢により聴力が下がりつつある方々が補聴器を利用することにより健康維持、認知症予防及び安全の確保につながると考えることから、補聴器購入助成に対する本市の考えを伺う。

4 近年、加齢の影響等により、尿漏れパットや紙おむつを使用する方が増えているため、公共施設等の男子トイレにもサニタリーボックスを設置する動きが広がっている。本市においても多くの人を訪れる施設に設置を望む潜在的なニーズがあると推測され、また、高齢者の外出支援にもつながると考えることから、市庁舎における設置状況及び今後の見通しを伺う。

5 近年の保育や教育の場では、日常生活、集団での過ごし方及び学習に困り感を抱える子供が増え、特別支援学級だけでなく通常の学級においても、対人関係等に困難を有する子供が増加しているという状況から、教育委員会が関わり支援するセンターが開設されている自治体の事例がある。乳幼児期から青年期にかけての心身の発達に関する相談、教育、指導、療育等の支援体制について、本市の対応状況を伺う。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 竹 本 力 哉

1 市長が市民から直接要望等を聴きそれを市政に反映させるなど、市民サービスの向上に資する取組と考えるタウンミーティングについて、以下2点伺う。

(1) タウンミーティングでの市民の声を基に実施した事業を伺うとともに、今後、実施を予定する事業について伺う。

(2) タウンミーティングだけでは、あらゆる世代及び様々な状況下にいる市民の声を聴くことは難しいと考えるが、いかがか伺う。

2 行政組織の体制は、直接市民サービスに関わる重要事項であると考え、現体制及び職員配置・育成について、以下3点伺う。

(1) 本市における行政組織の改革の必要性について、どのように考えているか伺う。

(2) 職員が高いモチベーションを保ち、自由闊達な意見を述べ、チャレンジできる環境を整えることがよりよい市民サービスへとつながると考えるが、職員の人事異動について、どのような方針で実施しているか伺う。

(3) 職員の育成において、他市町の施策等を学ぶ機会が重要であると考え、十分に実施できているか伺う。

3 観光を基幹産業とする本市にとって、景観は重要なファクターと考えることから、観光地エリア景観計画について、以下2点伺う。

(1) 宇佐美エリア、小室山周辺エリア、伊東温泉中心市街地エリア、伊豆高原周辺自然回遊エリアと4つに分け計画を策定しているが、各エリアの課題に対する取組の進捗状況について伺う。

(2) エリアごとの取組には、短期と中・長期の取組があるが、来年度に実施を見込む取組内容について伺う。

4 地域社会を活性化し、住民の協力を促進する「シビックプライド」を高めることは、人口流出の抑制や新たな住民を呼び込む効果をもたらすなど様々なメリットが期待できるとされているが、シビックプライドの醸成に関し、本市としてどのように考えているか伺うとともに、具体的な取組内容について伺う。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 鈴 木 絢 子

- 1 大規模災害の発生後、迅速に災害対策本部を立ち上げるために、誰にでも分かるように、ピクトグラムで分かりやすく手順を示したアクションカードを作成している自治体もあることから、本市においても同様の取組を検討すべきと考えるがいかがか伺う。
  
- 2 コンパクトで利便性の高い市街地形成とその連携により、地域ごとの魅力を備えた暮らしやすく、住みたくなる、行きたくなるまちづくりを進めることを基本方針とした伊東市立地適正化計画について、以下3点伺う。
  - (1) 誘導方針の一つとして、定住促進によるまちの活力の創出を掲げており、都市機能の誘導等により日常生活の利便性を高める旨の記載があるが、具体的にどのような都市機能があるか伺うとともに、都市機能誘導施設に小・中学校が入っていない理由を伺う。
  
  - (2) 小学校の統合などにより、今後、通学範囲がより広域化し、利便性の低下を懸念することから、まちづくりと教育環境の整備がどのように連携されているか伺う。
  
  - (3) 都市拠点でもあり居住誘導区域として掲げられている伊東市街地において、どのような施策を考えているのか伺うとともに、今後の20年を見据えた未来像を伺う。

3 学校の規模及び配置の適正化について、これまでに実施した小学校の統合に関する検証結果を伺うとともに、今後、学校の統合等を行うに当たり、反映させる事項を伺う。

4 令和5年度の本市の小学校における不登校出現率は4.78%となっており、令和3年度の2.43%、令和4年度の2.69%に比べて、急増したことから、以下2点伺う。

(1) 急増した要因を伺うとともに、どのように分析しているか伺う。

(2) 現在、不登校対策として中学校のみ別室登校支援員を配置しているが、小学校においても同様の支援が必要と考えるが、いかがか伺う。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 杉 本 一 彦

- 1 首都圏では、いわゆる闇バイト募集により雇われた者が関与する強盗事件等が多発しており、市内においても特殊詐欺が疑われる電話や訪問の情報が後を絶たず、市民の間でも不安の声が高まっていることから、本市におけるこれら事件の発生状況等及び今後の対策について伺う。
  
- 2 本市でもペットを飼う高齢者が増えているものの、飼い主が亡くなられたりする等の理由により、突然飼うことができなくなる事態が見受けられるため、その事前準備の周知は不可欠であると考えことから、今後、本市としてどのような対応を考えているか伺う。
  
- 3 現在実施しているふれあい収集事業は、高齢者見守りの観点からも非常に意義のある事業と評価することから、本事業を実施したことによる効果及び課題並びに今後の展望について伺う。
  
- 4 健康保養都市を推奨し、高齢化が進む本市において、市民等が気軽に利用できる市営の温水プールが存在しないことはいかがかと考えるものの、新しい施設の設置は難しいと理解しているが、屋内温水プールの必要性について、市長の考えを伺う。また、閉鎖等されている民間施設を利活用することについて、どのように考えているか伺う。

5 来年、諏訪市・伊東市の姉妹都市締結60周年を迎えるに当たり、歴史ある両市のつながりについて市長の思いを伺う。また、この機会に改めて諏訪市とのつながりを市民に理解していただくための取組を実施すべきと考えるがいかがか。

6 なぎさ公園のタイルについて、破損部分の補修をしてきているところは見受けられているものの、著しく劣化している範囲が広いことから、大規模改修の必要な時期に来ていると考えるが、本市の考えを伺う。

7 対島地域における小・中学校の将来に向けた編成について、今後、どのようなスケジュールで進められていくか伺う。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 虫 明 弘 雄

- 1 令和7年10月より超過課税を導入する入湯税について、以下2点伺う。
  - (1) 以下の施策について、想定される超過課税分の使途を伺う。
    - ア 温泉の保護・活用策
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
    - イ 観光振興策
  - (2) 環境施設や消防施設への今後の活用見込みについて伺う。
  
- 2 伊東港・伊東港海岸整備に対して掲げる本市のビジョンと方針について、以下2点伺う。
  - (1) 伊東港・伊東港海岸整備基本構想の考え方及びその進捗状況について伺う。
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  - (2) 県主導で行われてきたオレンジビーチ再生への計画の検討に対する本市の意向について伺う。
  
- 3 本市の郷土史について、以下2点伺う。
  - (1) 郷土史を学ぶ重要性について、本市の考えを伺う。
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  - (2) 市民が郷土史を学ぶための取組を伺う。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 四 宮 和 彦

法定目的税である入湯税について、以下3点伺う。

1 入湯税の制度趣旨について、本市の見解を伺う。

2 入湯税収入の使途について、以下3点伺う。

(1) 入湯税の使途については、「環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設及び消防施設その他消防活動に必要な施設の整備並びに観光の振興（観光施設の整備を含む。）」に充当することが地方税法上定められているが、それぞれの充当先ごとの具体的事業及び充当額の現状について伺う。

(2) 平成29年度以前における入湯税の事業別充当割合について伺う。

(3) 令和7年10月1日から税率改正が予定されているが、これにより入湯税の使途についてどのように変わることが見込まれるのか伺う。

3 税率改正後の入湯税について、見込まれる超過課税分の約半分を温泉資源の保護、残りを観光振興施策へ充てる旨の説明が9月定例会においてなされ、温泉資源の保護の具体的な内容は、民間の温泉施設の更新・改修費用への補助を考えているということであったが、本来、事業コストとして民間事業者が負担すべき施設の更新・改修費用を一部にせよ公費で負担することの公平性について、本市の見解を伺う。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 村 上 祥 平

- 1 認定こども園整備に向けた進捗状況及び今後の見通しについて、以下3点伺う。
  - (1) 認定こども園整備の見通しについて、令和6年3月定例会において一般質問をしたが、その後の進捗状況について伺う。
  - (2) 検討を行う中で、整備の方向性や課題が見えてきているものと考えているが、どのようなものがあるか伺う。
  - (3) 今後の少子化の動向や幼稚園・保育園施設の現状を踏まえると、市内全域においてこども園化を進めていくものと考えているが、今後の見通しについて伺う。
  
- 2 地域交通については、近年のバス運賃や各種定期券の値上げにより、子育て世代の負担が増している状況があり、また、高齢化の進展により地域交通の重要性が高まっている状況もある。より一層利用しやすい地域交通であるとともに、地域交通を守っていく観点から、地域交通の在り方を見直す必要があると考えるが、地域交通における今後の具体的な支援策等について、本市の考えを伺う。

3 本市における有害鳥獣被害対策について、以下3点伺う。

(1) 猿やイノシシ等の被害相談が増えていると聞くことから、現在の対応状況について伺う。

(2) 箱わなの設置数及び捕獲状況について伺う。

(3) 猿やイノシシの捕獲に対する専門家等との連携状況について伺う。

4 伊東八景の一つである一碧湖及び小室山の整備について、以下2点伺う。

(1) 近年、一碧湖については、遊歩道整備を実施しているものの、悪天候の後には冠水箇所が発生するなど抜本的な改善には至っていないことから、遊歩道整備のみならず、栈橋の設置など大規模なリニューアル整備を行い、目新しい観光スポット化を検討してみたいかがか。

(2) 小室山について、つつじが枯れている状況などが見受けられ、また、市民からも心配の声があるため、いま一度、しっかりとした小室山の整備を行い、改めて伊東八景としての魅力を発信する機会にしてはいかがか。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 篠 原 峰 子

- 1 国が策定したみどりの食料システム戦略に基づき、静岡県が取り組む施策を具体的に示した静岡県有機農業推進計画における本市の取組について、以下4点伺う。
  - (1) 本市における耕地面積に占める有機農業の取組面積の割合について伺う。
  - (2) 同計画における有機食品の消費状況アンケートについて、本市の結果を把握しているか伺う。
  - (3) 同計画の取組目標として「有機食品を週1回以上利用する消費者の割合を2030年には25%に引き上げる」と設定しているが、本市の取組の現状及び今後の見通しについて伺うとともに、取組を推進する上での課題について伺う。
  - (4) 有機農業推進のための施策として、同計画において「国や市町等と連携して、国際水準の有機農業等に取り組む農業者を、環境保全型農業直接支払制度の活用等により支援する」とあるが、本市の支援状況について伺う。
- 2 静岡県環境負荷低減事業活動の促進に関する基本的な計画における本市の取組について、以下2点伺う。
  - (1) 本市において、環境負荷低減に資する活動を行っている農林漁業者の取組状況を伺うとともに、化学肥料及び化学農薬の使用量低減を一体的に行う活動の促進について、本市の現状を伺う。
  - (2) 本市において、オーガニック給食を推進するため有機野菜などを学校給食に提供する団体があり、また、個人でも有機野菜を栽培されている方や関心の高い方も多いと考えるが、同計画に基づきどのような推進を図っていくのか伺う。

3 国では、みどりの食料システム戦略を踏まえ、有機農業に地域ぐるみで取り組む産地（オーガニックビレッジ）の創出を図る市町村を支援しているが、本市として、また、国や県の取組を前に進めるためにも「オーガニックビレッジ宣言」を行ってはいかがか。

4 本市の学校給食について、以下3点伺う。

(1) 本市の小・中学校における給食の残食率とその状況について伺う。

(2) 本市の特徴的な取組として実施している学校給食地産地消推進事業について、現在の事業内容を伺うとともに、子供たちの食への関心を高めるため、同事業をさらに発展させ、オーガニック食材を含めた地元産食材を取り入れる考えはないか伺う。

(3) 先進的な取組として、食品ロス削減の一環と就農者の活性化を兼ねた事業として、給食残渣を堆肥化したものを地元生産者が活用し、収穫された農産物をさらに給食の食材として利用する循環型による食育推進を行っている自治体もあるが、取組の実施について、本市の見解を伺う。

5 本市における不登校支援の充実に向けた取組について、以下2点伺う。

(1) 静岡県が実施している不登校児童・生徒のためのしずおかバーチャルスクールについて、本市の申込状況を伺う。

(2) 教育支援センター「なぎさ」について、給食の提供など過ごしやすい環境を整備することにより、充実した居場所にしていくことが必要と考えるがいかがか。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 杉 本 憲 也

- 1 本市の委託事業等における官民協働の取組に関し、以下5点伺う。
  - (1) 本市における事業目的達成のための手法のうち、直営で行う事業、負担金事業、委託事業、補助事業について、以下2点伺う。
    - ア それぞれの定義を伺うとともに、これら手法を選択するに当たり、統一的な基準を有しているのか伺う。
    - イ これら手法の決算報告において、事業収支報告の様式や記載内容及びその程度に差異があるのか伺う。
  - (2) 本市において、次の委託事業が存在するのか伺うとともに、当該ケースの必要性、妥当性及び考えうるリスクへの対策について、本市の見解を伺う。
    - ア 委託者である市の職員が構成員となっている団体が受託している事業
    - イ 委託事業と受託団体の自主事業とが外見上一体となっている事業
  - (3) 委託事業において、委託された業務をそのまま第三者に再委託することは、当該受託者への業務委託の必要性や妥当性及び適切な公費の使い方の観点において大きな問題があると考えますが、委託事業における再委託可能な範囲について、本市の見解を伺う。
  - (4) 委託事業において、事業参加者等に料金を支払っていただく場合の根拠について伺う。また、参加者等に支払っていただいた料金等の収入に係る適切な会計処理方法について、本市の見解を伺う。

(5) 「I TO MARCHE」に係る委託事業について、現在の受託事業者の選定経緯及び選定理由を伺うとともに、当該事業の収支報告書で未計上となっている出店料等の委託事業に係る収入について、その金額、使途及びその後の経理処理の改善状況について伺う。

2 平成29年5月29日以降、本市が被害者や被疑者となった刑事事件、または本市が被告となった民事事件の件数及びそれらの顛末の概要について伺う。

3 4月2日から翌年4月1日までの間に3歳の誕生日を迎える子供が幼稚園に入園できる制度である「満3歳児保育」は、幼児期の人格形成をする重要な時期に質の高い教育を受けられるため重要とされ、また国でも、満3歳児保育を幼児教育・保育の無償化の対象としており、子供の発育だけでなく子育て世帯の経済的な支援としても大きなメリットがある。子育て支援の充実の観点から、本市の公立幼稚園でも、満3歳児保育を早期に導入すべきと考えるが、いかがか。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 田久保 眞 紀

- 1 人口減少や高齢化が進む中、町内会・自治会等組織の維持が難しくなる一方で、社会問題や行政に対する市民ニーズの多様化などにより、きめ細かな地域対応が求められている。このような状況を踏まえ、本市における自治会等の組織強化及び市民協働・地域づくり推進の取組並びに今後の方針について伺う。
  
- 2 本市におけるD X推進に係る現状及び今後の取組について伺う。
  
- 3 本市の図書館政策について、以下2点伺う。
  - (1) 新図書館建設事業の進捗状況及び今後の見通しを伺うとともに、建設後の運営の方向性について伺う。
  
  - (2) 分館構想や図書館運営への市民参画の要望があるが、今後の図書館政策の方針について、本市の考えを伺う。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 重 岡 秀 子

- 1 子供の居場所づくりとしての子ども食堂の現状及び課題に関し、以下4点伺う。
  - (1) 子ども食堂の設置数や活動内容など、本市が把握している子ども食堂の現状について伺う。
  - (2) 物価高騰下や参加を希望する家庭の増加が見受けられる中で、市の補助基準など支援の在り方の見直しが必要と考えるが、本市の見解について伺う。
  - (3) 新規の子ども食堂の設置や国等の補助金の手続、企業等多様な団体からの支援の受入れに係る手続など各種事務手続等について、市として相談や支援を行う体制も必要と考えるが、本市の見解について伺う。
  - (4) 子ども食堂を含め子供の居場所づくりを運営する団体間での連携や情報交換の場が必要と考えるが、本市の取組について伺う。
  
- 2 国が設置を推奨しているこども家庭センターについて、以下3点伺う。
  - (1) こども家庭センターについて、本市の取組状況を伺う。
  - (2) こども家庭センター設置の必要性の背景には、児童虐待の増加もあると考えるが、本市の現状を伺う。
  - (3) こども家庭センターが担うべき役割である、出生時から18歳までの切れ目のない子育て支援について、本市ではどのような取組を重視しているか伺うとともに、関係機関の連携や一体的な取組が特に重要と考えるが、本市の現状及び今後の課題を伺う。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 犬 飼 このり

- 1 市民の快適な住環境づくりの観点から、ペットへの取組に関して、以下2点伺う。
  - (1) 地域猫に対する取組について、本市の考えを伺う。
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  - (2) ペット用火葬炉の導入について、本市の考えを伺う。
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- 2 本市の特性を生かした企業誘致の観点から、ペット産業に焦点を当てることがよいと考えるが、企業誘致の現状を踏まえ、本市の考えを伺う。
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- 3 市街地に程近く市内外の利用者が見込める丸山公園において、十分な整備が行き届いていないと感じることから、本市の都市公園の整備計画を伺うとともに、全国的に広がるP a r k - P F Iの導入などの考えはないか伺う。